

令和元年度 富屋小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

- (1)基本目標 ・ 豊かな心と健やかな体を持ち、自ら考え進んで学び、次代をたくましく生きる児童を育成する。
(2)具体目標 ・ 元気でやりぬく子 ・ 自分で考え進んで学ぶ子 ・ 仲間のために考えはたらく子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

本校教育目標達成のために、全職員が信頼と協調のもと、互いに高め合う人間関係を構築し、創意工夫と活力ある教育活動を展開する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 地域の特性や教育力を生かした特色ある教育活動の推進
- (2) 道徳科の授業や体験活動を中核に、自他の生命を尊重し、感謝や思いやりなどの豊かな心を育成するための教育活動の推進による、いじめを生まない指導の充実
- (3) 自信や自己有用感を育成するため、積極的に児童一人一人のよさを認め励ます教育の推進 により、居がいのある温かい雰囲気学級の学級経営等による、不登校を生まない支援の充実
- (4) 学ぶ意欲の向上と基礎・基本の確実な定着を図り、主体的に学ぶ態度の育成とともに、学習課題をはっきり理解させ、見通しを大切に「わかる授業」の一層の充実
- (5) 基本的な生活習慣の確立と社会性の育成を図る児童指導の充実
- (6) 自らの健康を大切にする能力や自己の安全を守る能力の育成
- (7) 勤務時間を意識した働き方の推進と、教育公務員としての使命感と誇りをもって、自らの資質の向上に努める職員研修の充実
- (8) 地域に開かれ、信頼される学校づくりの推進（地域はみんなの学校）

〔晃陽地域学校園教育ビジョン〕

「地域に根ざし、子どもが生き生きと活動する晃陽地域学校園」
ー児童生徒の学習習慣の定着と学力向上を目指してー

4 教育課程編成の方針

- (1) 基本方針
 - ・ 国、県、市の方針を受け、本校教育目標達成のための経営方針や努力点、学校評価の反省等を踏まえた編成
 - ・ 基礎的・基本的な内容を重視しながら、創意工夫を生かした教育及び特色のある学校づくりを意図した編成
 - ・ カリキュラムマネジメントの視点のもと、教育活動全体を通して学校教育目標が達成されるような編成
- (2) 留意事項等
 - ・ 教育課程全体のバランスを図りながら、学習指導要領のねらいが実現可能な指導時間の十分な確保
 - ・ 問題解決的な学習や体験的な学習による、主体的・対話的で深い学びの実現と、思考力、判断力、表現力の伸長
 - ・ 学習形態や指導体制の充実による、個に応じたきめ細かな指導の充実
 - ・ 道徳の教科化に伴う内容の改善、児童の発達段階に応じた指導方法の工夫及び評価の改善
 - ・ 外国語を通じて言語や文化についての体験的な理解と、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
 - ・ 総合的な学習の時間のねらいに即し、本校の特色を生かした横断的・総合的な学習や探求的な学習の推進と指導の充実
 - ・ 相互関連が十分配慮された特別活動の実施と、自発的・自治的活動を高める指導の工夫
 - ・ すべての教育活動を通した、好ましい人間関係の構築と生活指導の充実、および「宮っ子の誓い」の意識化、実践化
 - ・ 県・市の人権教育基本方針に基づいた、人権尊重の理念についての理解
 - ・ 「元気っ子健康体力チェック」の結果を踏まえた指導の、より一層の充実
 - ・ 自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を営む態度を育成するための、交通安全教室や避難訓練等の効果的な実施
 - ・ コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用できるようにする情報活用能力の育成
 - ・ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の実践と、インクルーシブ教育の理念を踏まえた特別支援教育の推進
 - ・ 人と関わる力、勤労奉仕や努力を重んじる態度を養い、職業への関心を高め、自分の将来に希望をもち、目標を実現する意欲や態度の育成
 - ・ 地域に根ざした総合的な学習の時間「富屋ふるさと学習」の推進による、地域を愛し、大切にしていこうとする態度の育成

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】	学校・家庭・地域の連携体制を基盤とした、地域に根ざした信頼と魅力ある学校づくりの推進 【創意工夫と活力ある教育活動の展開】
【学 習 指 導】	○自分で考え、進んで追究し、生き生きと表現することができる児童の育成 ～基礎・基本を確実に定着させ、主体的に学ぶ態度を育てるための効果的な指導法の研究～
【児 童 生 徒 指 導】	○生命の尊さを理解し、思いやりの心をもって正しく判断し、たくましく行動することができる児童の育成
【健康（体力・保健・食・安全）】	○健康的な生活習慣を身に付け、積極的に運動に取り組み、進んで体力を高めようとする児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上	① ICTを活用した教材・教具の工夫や、課題解決のための話し合い活動の場の設定を効果的に行う。 ② 朝の学習に「学力強化週間」や「チャレンジ学習」を設け、基礎・基本の定着と応用力育成を目指す。 ③ 学校だよりや学年だより等を通して、協働的な学習の充実を図った授業や児童の取組についての情報発信を積極的に行う。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 90.0% ・ 「学力強化週間」や「チャレンジ学習」を朝の学習の時間に定期的に設けたり、「家庭学習がんばりカード」を用いて保護者の家庭学習への理解と協力を得たりした。また、話し合い活動やICTを効果的に活用することにより、自分から学習に取り組む態度が身に付いた。 【次年度の方針】 ・ 朝の学習の時間に基礎・基本を身に付ける問題や、活用力を身に付ける問題に取り組ませることにより、学力の定着を図る。
	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 道徳科の授業を通し、生命や人権を尊重する心や、人を思いやる心などを育てる。 ② 人権教育年間活動計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。 ③ 各種特別活動において、他との交流を深める活動を取り入れ、相手の立場を考えて思いやる心を育む。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 81.6% 教職員の肯定的回答 94.7% ・ 道徳や特別活動等の時間を用いて、生命尊重や思いやりの心を育ててきた。周囲の人に優しく接することができている ・ 不用意な言葉かけなどでトラブルに発展することもあり、相手の立場に立った考え方について意識させる必要がある。 【次年度の方針】 ・ 各学級等での取組について情報交換し、全校体制で道徳科・人権教育・特別活動等で思いやりの心を育む取組を継続していく。

目 指 す 児 童 の 姿	A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 「富屋小のきまり」を守る指導を通して、社会のきまりを守る態度を育成する。 ② 児童の実態に応じた月ごとの生活目標を立て、ルールやマナーに対する意識を高める。 ③ 生活当番を中心として、児童の生活の状況を確認し、課題などを共通理解して指導にあたる。	A 【達成状況】 教職員の肯定的回答 78.9% 保護者の肯定的回答 90.7% ・ 月ごとの生活目標について、意識をして生活できている児童が多かった。 ・ 室内の過ごし方や、廊下・階段の歩行など、きまりが守れていないものもあった。 【次年度の方針】 ・ 昨年度までの取り組みに加え、委員会での呼びかけ活動など、きまりについて児童自らが考え、主体的に取り組む活動を取り入れていく。
	A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 日頃から誰にでも元気なあいさつができるよう指導を徹底する。 ② 地域や保護者と連携したあいさつ週間を設定し、意識の高揚を図る。 ③ あいさつへの指導の取り組みについて各種便りで啓発する。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 84.2% 保護者の肯定的回答 78.6% ・ 学校内でのあいさつはできるようになってきているが、「どこでも」「自分から」できる状況までは至っていない。 【次年度の方針】 ・ 継続して、学校生活のあらゆる場面で時と場に応じたあいさつの在り方について指導していく。
	A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 ② 児童が粘り強く取り組む力を育むために、各教科の授業や行事において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、目標の達成に向けて努力している児童を賞賛する。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答 86.6% 教職員の肯定的回答 89.5% ・ 学校行事などでは、学校全体の雰囲気として、粘り強く最後までやり抜こうとする様子が見られる。 ・ 学習や日常生活の面では、何事にも粘り強くあきらめずに取り組んでいるところまでは至っていない。 【次年度の方針】 ・ 引き続き、児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、各教科の授業や行事において、児童が目標をもって取り組む機会を設定する。
	A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 児童が自分の健康を管理できるよう、生活習慣チェック表などを用いて、養護教諭と担任が連携した、保健指導や日常生活指導を行う。 ② 健康を意識した望ましい食習慣の形成を図るために、栄養士と連携したランチルームでの給食指導や、食育だよりでの啓発を行う。 ③ 危険を予測し自らの命を守り抜く行動力を育成するため、日常指導における安全指導を充実するとともに、交通安全教室、避難訓練等を計画的に実施する。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.7% 保護者の肯定的回答 88.8% ・ 朝食の摂取や歯の健康などには良好な状態が見られるが、メディアやゲームの使用時間が長い傾向があり、目や心身の健康への影響が危惧される。 ・ 日常生活での危険予測や防災の意識が高いとは言えない。 【次年度の方針】 ・ 引き続き養護教諭や栄養士と担任が連携した保健指導や、日常生活指導を行うとともに、交通安全教室、避難訓練等を計画的に実施する。

目 指 す 児 童 の 姿	A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や、望ましい勤労観や職業観を、全教育活動を通して意図的・計画的に取り組む。 ② 生活や総合の授業におけるふるさと学習を推進し、自分の住む地域のよさを知るとともに、地域の方との交流を図る。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答 89.5% 保護者の肯定的回答 73.2% ・ 富屋地区のよさについて、多くの児童が知る機会を得ており、学習や学校行事に能動的に参加している。 ・ 夢につながる社会体験や経験が少ないためか、夢や目標をもてない児童もいる。 【次年度の方針】 ・ 引き続き、宮未来キャリア教育や、生活、総合の授業におけるふるさと学習を推進する。また、令和2年度から実施のキャリアパスポートを用いて、学校と家庭の共通理解を図りながら、児童の夢や目標に向けて、取り組もうとする意欲や勤労観を育む。
	B 1 学校と家庭が一体となり、児童が自ら学ぶ楽しさを味わう指導を充実する。 【数値指標】【全】 全体アンケート 「学校や家庭での学習に、自ら学ぶ意欲をもって取り組んでいる。」 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 「学習の約束」を土台に、めあての明確化、学習形態の工夫、振り返りの充実等に取り組む、児童の学ぶ意欲を高める。 ② 「家庭学習の手引き」の活用や「家庭学習強化週間」等を通して、各学年に応じた家庭学習の習慣化を図り、保護者の意識及び児童の自ら学ぶ意欲を高める。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 81.6% 保護者の肯定的回答 82.9% ・ 各教科の授業において、めあてを明確にし、それに沿った振り返りの場を設け、継続したが、学ぶ意欲の十分な高揚には至っていない。 ・ 家庭学習については、強化週間等を中心に定着が図られているが、取組の内容や量等に個人差が見られる。 【次年度の方針】 ・ 引き続き、各教科に応じた授業改善に努め、振り返りを含めた児童の変容を学級・学年等で共有し、学ぶ意欲を高めていく。 ・ 家庭学習について、工夫して取り組んでいたり継続して取り組んでいるものを取り上げ、校内掲示、学年だよりでの紹介するなど、広く発信し、質の向上を図る。
	A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 外国語活動を通じて、言語や文化についての体験的活動を意図的に増やしていく。 ② 学校内におけるALTとの日常的な交流によって、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 86% 教職員の肯定的回答 89% ・ ALTと授業や活動の前後に情報交換の時間を確保することで、言語や文化についての体験的活動を増やすことができた。 【次年度の方針】 ・ ALTとの授業や日常的な交流によって、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
目 指 す 児 童 の	A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上	① 生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業や、市内や地域での校外学習等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。 ② 教師自身が身近な地域や宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深められるように努める。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答 78% ・ 生活科・社会科・総合的な学習の時間の授業において、児童は身近な地域の良さに気付いてはいるが、宇都宮市の良さとして関連付けることが難しかった。 【次年度の方針】 ・ 生活科、社会科、総合的な学習の時間における「宇都宮学」の授業や、市内や地域での校外学習等において、学習内容に関連させながら、宇都宮市の良さに気付く指導を充実させる。

姿	A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 児童がコンピューターや情報通信ネットワーク等の情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業においてICT機器を活用する機会を増やす。 ② 各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。 ③ 読書の時間やボランティアや教師、児童による読み聞かせの時間、図書便りの発行等を通して、児童の読書意欲を喚起する。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答 78% 教職員の肯定的回答 89% ・ 児童がコンピューターや情報通信ネットワーク等の情報手段を適切に使用する機会を設けてきたが、それらを十分活用するまでには至らなかった。 【次年度の方針】 ・ 児童がコンピューターや情報通信ネットワーク等の情報手段に親しみ、活用する機会を一層増やし、適切に活用する能力を育成する。 ・ ICT機器を使った学び方や学習形態の改善に努める。
	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもっている。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 道徳科の授業を通し、生命や人権を尊重する心や、人を思いやる心などを育てる。 ② 人権教育年間活動計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。 ③ 総合的な学習の時間などで、地域の高齢者と交流する機会を設け、感謝の気持ちや思いやりの心を育む。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答 81.6% 教職員の肯定的回答 94.7% ・ 生活科や総合的な学習の時間・特別活動等での地域の高齢者との交流活動等を通して、高齢者に対する感謝の気持ちを持つことができていた。 ・ 高齢者と積極的にかかわっていこうという意識を育む必要がある。 【次年度の方針】 ・ 道徳科・人権教育等で人を思いやる心の指導を継続し、特別活動・総合的な学習の時間などで、地域の高齢者との交流の機会を維持して、感謝の気持ちや思いやりの心を育む。
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 各教科領域における自然や環境に関する学習を通して環境問題に対する関心を高め、環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。 ② 危険を予測し自らの命を守り抜く行動力を育成するため、日常指導における防災教育を充実するとともに、地震や竜巻などの避難訓練等を計画的に実施する。	A 【達成状況】 児童の肯定的回答 79.1% 教職員の肯定的回答 57.9% ・ 環境問題について、漠然とした知識はあるものの、理解したり自分の考えをもったりするところまでは至っていない。 【次年度の方針】 ・ 引き続き各教科領域における自然や環境に関する学習や防災教育を推進するとともに、児童会活動での呼び掛けや取組を推進したり、やごみの分別等の日常指導が環境問題と関わりがあることなどに目を向けさせたりする。
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に対する共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を行う。 ② 特別支援学級の児童はもとより、通常学級においても、必要において個別の支援計画を作成し、それに基づく合理的な配慮を伴う指導に努める。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 100% ・ 特別支援コーディネーターを中心に、全校体制で児童一人一人のニーズに応じた支援を行うことができています。 【次年度の方針】 ・ 今後も、特別支援教育コーディネーターを中心とした、全校での支援体制づくりを継続していく。

目 指 す 学 校 の 姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 日ごろからいじめは許されない行為であることを指導するとともに、いじめゼロ強調月間で、スローガン募集やゼロリボン着用、いじめゼロ集会等を実施し、いじめゼロへの意識向上を図る。 ② 「生命尊重」を重点項目とした道徳授業を各学年で実施するなど、「宮っ子心の教育」を推進する。 ③ 学校での取組を学校便り等で保護者に知らせる。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答 98.0% 保護者の肯定的回答 76.9% ・ いじめゼロ強調月間に合わせて道徳科の授業を展開するなどして、いじめを許さない気持ちを育てることができた。 ・ いじめゼロ集会など、児童を主体とした活動を通し、いじめゼロへの意識を高めることができた。 【次年度の方針】 ・ 引き続き、日頃の指導や児童が主体となって取り組む活動等を通し、いじめが許されないことであることを指導していく。また、学校だより・学年だより等で、学校の取組を周知していく。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合う暮をつくってくれている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上	① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 ② 教育相談、Q-U調査、欠席状況調査等の結果を活用し、不登校傾向のある児童の早期発見を行い、校内対策委員会を活用し、SCなどの外部人材とともに全職員体制で対策を講じる。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答 95.5% ・ 学校への行き渋りの兆候を的確にとらえ、迅速に組織的に対処を進めることができた。 【次年度の方針】 ・ 今後も、居がいのある学校・学級づくりや不登校傾向のある児童の早期発見に努めるとともに、全職員体制で組織的に不登校対策を進めていく
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 外国人児童について全校で共通理解を図り、必要な支援やニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ② 児童が、外国の文化に触れる機会を設け、それぞれの国のよさを尊重する態度を育む。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 100% ・ 道徳科・外国語活動等で諸外国の文化について学び、その良さを尊重する態度を育成してきた。 【次年度の方針】 ・ 今後、外国人児童や帰国子女について、全職員共通理解のもとに指導できる体制づくりを進めるとともに、外国の文化について学び・尊重する態度を育成する取組を継続していく
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 児童の自発的な集会活動や学校行事等を通し、望ましい集団づくりと個に応じた指導の充実を図る。 ② 児童主体の特別支援学校や高齢者施設等と交流活動やホタル愛護、米作り、民話活動等の「ふるさと学習」の充実を図る。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答 88.6% 保護者の肯定的回答 90.4% ・ ほとんどの児童が、毎日登校し、安心、安全な環境の中で明るく生き生きと学習や生活をしている。 ・ 個別の場面では、生き生きとして、能動的、協働的な学習や集団活動ができていないところも見られる。 【次年度の方針】 ・ 引き続き児童の自発的な集会活動や学校行事、学校支援ボランティアを活用した「ふるさと学習」の充実を図る。

目 指 す 学 校 の 姿	A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上	① 授業のねらいや一人一人の課題を明確にし、板書の構造化や振り返りや、まとめ方を工夫して、児童の思考や理解を深める授業の実践を図る。 ② PDCA サイクルを活用して指導の改善を図り、一人一人への支援の充実を目指す。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答 97% - 授業のねらいや一人一人の課題を明確にし、児童の実態に即した授業展開や振り返り、まとめ方を工夫して学力向上に努めた。 【次年度の方針】 - 学年だより等を通して、協働的な学習の充実を図った授業や児童の取組についての情報発信を積極的に行う。
	A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 学校の諸課題への対応や、学校行事の実施等に、かがやきルーム指導員や学校司書業務嘱託員、SC等の専門性を生かしながら、全教職員が一丸となって取り組むよう努める。 ② 教職員一人一人の得意分野やよさを生かす組織運営に努め、困難を感じる業務について気軽に相談し、助け合いながら、同僚性を高めていく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.7% - 個々の教職員の専門性を生かし、小さな課題にもケース会議や臨時打合せ等を持ち、全職員で情報共有し、対応することができている。 - 担任以外の教職員も含め、すべての教職員が、学級や学年をこえ、授業や教育活動をサポートできるような環境づくりに努め、互いに助け合う同僚性が構築できている。 【次年度の方針】 - 多様な課題について、全職員が一丸となって対応できるよう、これまで以上に情報交換の時間の確保や場の設定を徹底する。 - 引き続き、個々の教職員のよさや能力を発揮できるよう、校務分掌の適正化に努める。
	A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 教職員一人一人が、自己の働き方を見つめ、勤務時間の効果的な使い方や業務の効率的な処理に努める。 ② 各種行事等の企画・運営において、ねらいを明確にしながら、実施方法の工夫・改善を推進し、教職員の負担軽減を図る。 ③ 学習情報システムをはじめとした各種システムを効果的に活用し、業務を効率的に進める。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 89.5% - 年度当初に働き方改革の目的(教育の質の向上)を確認し、その視点で行事や活動を企画・立案するよう徹底した。 - 学習情報システム等を有効活用した会議等の簡略化や時間外の自動音声対応を活用した業務の効率化の推進に努めた。 【次年度の方針】 - A19の取組と合わせ、教職員一人一人のライフワークバランスを加味して、業務の効率化を図り、教育活動のさらなる質の向上を図っていく。

目 指 す 学 校 の 姿 目 指 す 学 校 の 姿	A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① あいさつ運動や中学校訪問、冒険活動教室での交流を円滑に行い、児童が中学校への期待をもつことができるよう努める。 ② 乗り入れ授業や部会ごとの業務連携などにより、教職員の交流・連携の充実を図り、教職員の資質能力の向上に努める。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.7% 保護者の肯定的回答 90.4% - あいさつ運動や中学校訪問、冒険活動教室等で中学生や保護者、他校小学生との交流の機会をもつことで、中学校への期待につなげることができた。 【次年度の方針】 - 引き続き、中学生や保護者、他校小学生との交流を図り、中学校への期待を持つことができるよう努めていく。また、教職員の資質能力の向上につなげるよう、小・中の教職員間の連携の充実を図っていく。
	A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	① 地域の人材や教育資源を有効に活用するとともに、人材の確保に努める。(富屋再発見、ホタル学習、学校田活動、地域施設見学、読み聞かせボランティア、民話活動等) ② 地域と連携した教育活動を推進する。(ファイトとみや、収穫祭) ③ 地域協議会との連携により、学校運営の充実を図る。	B	【達成状況】 保護者の肯定的回答 97.2% 地域住民の肯定的回答 100% - 地域と連携した様々な行事を通して、地域の人材や教育資源が有効に活用され、富屋小の特色ある教育活動につながっている。 【次年度の方針】 - 引き続き、地域の人材や教育資源を有効に活用し、地域と連携した教育活動を推進していく。
	A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	① 地域の人材や教育資源を有効に活用するとともに、人材の確保に努める。(富屋再発見、ホタル学習、学校田活動、地域施設見学、読み聞かせボランティア、民話活動等) ② 地域と連携した教育活動を推進する。(ファイトとみや、収穫祭) ③ 地域協議会との連携により、学校運営の充実を図る。 【A22①、②、③再掲】	B	【達成状況】 保護者の肯定的回答 97.2% 地域住民の肯定的回答 100% - 地域と連携した様々な行事を通して、地域の人材や教育資源が有効に活用され、地域に愛着を持つ児童の育成につながっている。 【次年度の方針】 - 引き続き、地域の人材や教育資源を有効に活用し、地域と連携した教育活動を推進していく。
	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 毎月安全点検を実施し、危険個所については迅速な改善や修繕に努める。 ② 時期に応じて熱中症予防や感染症の蔓延に対する予防など、保健指導管理に努める。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 90.8% - 必要に応じた迅速な修繕や保健指導管理などが行われ、児童にとって安心、安全な環境の中で学習や生活ができている。 【次年度の方針】 - 引き続き危険個所について迅速な改善や修繕に努める。また、時期に応じた保健指導管理や養護教諭、栄養士などによる授業参加を推進する。

	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、I C T 機器や図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 児童がコンピューターや情報通信ネットワーク等の情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、I C T 機器の管理に努める。 ② 各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。 【A10②再掲】 ③ 読書の時間やボランティアや教師、児童による読み聞かせの時間、図書便りの発行等を通して、児童の読書意欲を喚起する。 【A10③再掲】	B 【達成状況】 児童の肯定的回答 78% 教職員の肯定的回答 89% ・ 各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努めた。 【次年度の方針】 ・ 学校図書館司書との連携を図り、教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備を継続していく。 ・ 新規導入されるタブレットの研修を早期に行い、児童が活用出来る環境を整える。
本校の特色・課題等	B2 地域の様々な人々とのふれあいを大切にした活動を推進している。 【数値指標】 全体アンケート「様々な交流活動や運動会、収穫祭等の地域の活動に参加し、様々な人々とふれあっている。」 ⇒児 童 85%以上 教職員 85%以上	① 富屋特別支援学校の児童・徳次郎保育園や山王認定こども園の園児・ティーン・センターや地区独居老人との交流、祖父母参観を通して、多様な人々とふれ合う機会を設ける。 ② 地域の特色を生かした運動会や収穫祭の内容を工夫し、様々な人々とふれあいを深め、地域への愛着を深める。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答 94.0% 教職員の肯定的回答 100% ・ 生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域の多様な人々と継続的に交流活動が実施できた。 ・ 地域と合同開催の運動会や教育資源を生かした収穫祭など、地域の各団体等と連携を図りながら、内容の工夫・改善を図れた。 【次年度の方針】 ・ 生活や総合的な学習の時間における交流活動のねらいを明確にし、より児童の主体的な学びの場となるよう、指導計画の工夫・改善を図る。 ・ これまで以上に、地域への愛着が深まるよう、地区行事への児童の参加を促していく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 多くの項目で数値指標を超える肯定的回答が得られており、評価指標・目標等を概ね達成できている状況である。中でも、A22「地域の教育力を生かした特色ある教育活動の展開」、A23「家庭・地域・企業と連携・協力したよりよい児童の育成」、B2「地域とのふれあい活動への参加」については、教職員・保護者・地域住民・児童いずれも高い回答となっており、長年にわたり継続している「地域とともにある学校づくり」の推進の成果と言える。
- 学習面に関して、基礎的基本的学習態度の育成を図り、児童の実態に即した授業展開を工夫して学力向上に努めた結果、児童は落ち着いて学習に取り組むことができた。今後は、児童の学習活動への取組を発信し、家庭との連携を密にすることで家庭学習を充実させ、さらに学力向上をめざしていきたい。
- 健康・体力に関して、多くの項目で高い肯定的回答を得ている。しかし、ゲームやメディアに触れている時間や、夢や目標に向かって取り組むことなどに課題が見られる。今後は、図書館司書や栄養士等の専門性を有する職員と連携した授業形態の工夫や、「キャリアパスポート」等を家庭と共有するなど、児童・保護者の健康や生活習慣に対する意識の向上を図りたい。
- 児童指導に関して、校内での挨拶は意識の定着が図られてきているが、「どこでも・自分から」とまで至っていない。指導の継続が必要である。きまりやマナーを守ること・時と場に応じた言葉遣いについては、意識が十分に高まっているとは言えない状況であることから、指導の強化を図りたい。
- 特色ある学校づくりに関して、地域の人材や教育資源を有効に活用した「富屋再発見」や「ホタル学習」等の活動、地域と連携した「ファイト！とみや」や「収穫祭」等の行事を通して、地域に愛着を持つ児童が増えている。
- 市の平均と比較し、教職員の評価が低いA3「きまりやマナーを守った生活」、A12「持続可能な社会への関心」については、学校生活全般において、具体的な取組を強化し、拡充を図りたい。

7 学校関係者評価

地域の教育力を生かした教育活動や家庭・地域と連携・協力については、高い評価となっており、総合的な学習の時間を中心に継続している「ホタル学習」や「米づくり」、「富屋再発見」等の「ふるさと学習」の成果だと言える。

肯定的回答の低かった「宇都宮のよさを知っている」に関しては、これまで同様に富屋地区の自然や歴史、よさを学ぶ中で、それらが「宇都宮のよさ」に結びつくような働きかけが必要である。宇都宮を知ること、富屋のよさを実感するという相乗効果もあるだろう。

また、「ふるさと学習」においては、ホタルの育成や放流等の活動に留まらず、育成地の自然保全を意識し、環境問題について考えたり、地域の歴史や文化の継承のために尽力したりするような学習を意図的に取り入れるなど、活動を深めてほしい。そうすることで、肯定的回答の低かった「持続可能な社会への関心」を高めていけるよう、学習支援ボランティアとしても協力していきたい。

これらを踏まえ、今後も、学校と家庭・地域が連携・協働して教育の質の向上を図り、児童の生活がより豊かなものになるとよい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学習指導】

○授業の質の向上（授業展開の工夫・改善、めあての明確化と振り返りの充実、基礎・基本の定着と応用力の育成、）

○主体的な学びの推進（「ふるさと学習」の工夫・改善、家庭学習の促進、児童の学びや教育活動に関する情報発信）

【児童指導】

○基本的な生活習慣の徹底（「富屋小のきまり」の徹底、月間の生活目標における強化、地域と一体のあいさつ運動）

・規範意識の醸成（委員会活動等による呼びかけ、児童主体の取組、時と場に応じた言葉遣いの指導）

【健康・体力】

○健康・体力の向上（メディア等との向き合い方に関する家庭への情報提供、自己肯定感を高める取組の強化）

○食育の推進（栄養士等と連携した授業の工夫、各種便り等での情報発信と共有、食生活に関するアンケート）

・安全教育の推進（日常の安全指導の強化、防災教育の強化 安全点検の的確な実施）

【特色ある教育活動】

○地域の教育資源を生かした活動の推進（「ふるさと学習」の深化・改善、総合的な学習の時間の指導計画の改善）

○地域における教育活動の促進（多様な人々との交流活動の充実、地区行事への参加促進）